

テーマ：『 小学校内にある自然環境整備、自然との関わり合いを通じた感性を育む総合的な学習の時間』

横浜市立 別所小学校

Tel. 045-715-2973 担当者： 七條 和靖



#### ■実践内容:

別所小には、「別所池」と呼ばれるビオトープがある。しかしながら、池の水漏れ、濾過器の故障など、様々な問題があり、学習の場としては活用できる状態ではなかった。そのようなときに、4年生が「池の再生を！」目指して環境学習として取り組んだ。問題解決のために多くの人へ交流を広げ、水田、水生植物池、湿地の3区画に整備した。

#### ■実践成果:

4年生が池の環境を整備した結果、池にはたくさんの種類の動植物が生息するようになり、学習の場としても活用できるようになった。また、池を整備した4年生が5年生になると、池の一部を田んぼとして活用し、今年の秋には別所池でつくった初めての「別所米」を収穫することができた。子どもたちは、自分たちが整備してつくったお米に喜びを感じ、達成感を味わうことができた。

#### ■実践ポイント:

池の掃除や工事、田植え、稲刈りなどの体験活動を数多く実施した。それらの体験から見えてくる課題を子どもたち自らが自分のこととしてとらえ、考え、実践することで、「生きる力」を育むことができた。また、整備するだけでなく、実際に米作りに活用することで、今後も継続して活用できる学習環境になった。